

## 国際競争力強化のための広域幹線道路網の整備促進

当地域は、自動車関連工業を始めとしたモノづくり産業の集積により、世界有数の産業圏域として日本経済を牽引し、世界経済の中でも大変重要な一角を占めております。

社会経済のグローバル化が進展する中、わが国が欧米の国々のみならず成長著しい東アジア諸国との厳しい国際競争に打ち勝っていくためには、陸海空の総合的な社会基盤の拡充により、さらに効率的で低コストな物流ネットワークを構築しなければなりません。

総取扱貨物量が全国第 1 位を誇る**名古屋港**においては、コンテナのみならずバルクや完成自動車など幅広い貨物を取り扱う総合港湾として「国際産業ハブ港」の形成を目指しており、「国際バルク戦略港湾」への選定を契機に、更なる港湾機能の強化を進める必要があります。

また、世界有数の産業圏域である当地域が日本と世界の架け橋となり、海外との密接な交流を拡大していくことが肝要であり、そのためには、**中部国際空港**が二本の滑走路を擁し、真に 24 時間運用可能な機能を備えることが必要不可欠であります。

そして、これらの物流拠点がその機能を十分に発揮するためには、背後圏にあって大きな経済力の源となっている産業集積地と連絡する広域幹線道路ネットワークの整備が極めて重要であります。

さらに、東日本大震災においては高速道路のダブルネットワークなど、緊急時の輸送を担う災害に強い幹線道路網整備の重要性が再認識されたところであり、東海・東南海・南海地震の発生が危惧される当地域においても、**リダンダンシー**を備えた道路ネットワークの構築が急務です。

当地域が今後も日本の経済を牽引する役割を十分に果たしていくため、次の事項について提言申し上げます。

## 記

- 1 新東名高速道路は、日本の大動脈として我が国の成長力・国際競争力強化に資する高規格幹線道路であるため、国家的見地から早期整備を図ること。
- 2 名古屋環状2号線は、三大都市圏環状道路であり、名古屋港や中部国際空港への重要なアクセス道路であるため、西南部・南部について、専用部の一日も早い着工と、一般部の4車線化の継続・早期完了を図ること。
- 3 名豊道路は、三河港等の重要港湾と自動車産業の集積地を結ぶ物流の軸であるため、全区間の事業を継続し、ネットワークの早期連結を図ること。
- 4 西知多道路は、中部国際空港と伊勢湾岸自動車道を連絡する国の中核ネットワークを形成する路線であるため、国が責任を持つべき道路として早期事業化を図ること。
- 5 名古屋高速道路高速4号東海線の早期整備を強力に支援し、名古屋高速道路ネットワークの早期完成を図ること。また、利用促進に向け、料金引下げにつながる総合的な支援を図ること。
- 6 モノづくり愛知における物流の効率化のため、基幹道路である国道1号、国道153号豊田西・北バイパス、国道155号豊田南バイパスを始めとする直轄国道の一層の整備促進を図ること。また、国道41号名濃バイパス（6車線化）の整備に新たに着手すること。

平成23年7月

愛知	知事	大村	秀章
名古屋	市長	河村	たかし
名古屋港管理組合管理者			
	名古屋市長	河村	たかし
名古屋商工会議所会頭		高橋	治朗
社団法人中部経済連合会会長		三田	敏雄
中部国際空港株式会社代表取締役社長		川上	博